日高市地域公共交通計画　自己評価シート（法定協議会報告用：計画達成状況）

資料５－４

計画期間初年度　記載欄　（地域公共交通計画より）										計画達成状況の評価、今後の方針（令和7年度）				計画達成状況の評価、今後の方針（令和8年度）			
観点	課題	観点に紐づく施策	KPI指標内容	KPI現状値	KPI目標値	KPI設定・目標値の考え方	KPI指標の算定・調査方法	データ取得方法	確認頻度	KPI実績	KPI 目標達成/未達成の要因、課題等	今後の方針（1）目標値のあり方（修正の有無等）	今後の方針（2）本観点に紐づく関連施策のあり方（強化、見直し等）	KPI実績	KPI 目標達成/未達成の要因、課題等	今後の方針（1）目標値のあり方（修正の有無等）	今後の方針（2）本観点に紐づく関連施策のあり方（強化、見直し等）
①：おでかけの足を確保する	必須行動の目的地に誰でも到達できるようにする	・【重点】施策・事業①-1-1　既存の公共交通を補完する新たな移動手段の導入 ・施策・事業①-1-2　義務教育学校の開校と合わせた通学手段の確保	鉄道駅の１日平均乗車人数	9,371人/日 【R1】	9,536人/日 【R11】	市内を運行する鉄道３路線（JR八高線、JR川越線、西武池袋線）は、コロナ禍で一度利用が落ち込んだが、近年は増加傾向にあるものの、コロナ前の水準には回復していないことから、近年の増加傾向を踏まえて線形拡大した数値を設定した。	ICカード情報・交通事業者による情報から算出	交通事業者から取得	毎年	…	…	…	…	…	…	…	…
	多様な世代・属性の外出機会を増やす	・施策・事業①-2-1　高齢者、障がい者、妊産婦、学生、未就学児等へのおでかけ支援 ・施策・事業①-2-2　公共交通施設のバリアフリー化とユニバーサルデザインの推進 ・施策・事業①-2-3　流活動等と連携した移動手段の確保	基幹的公共交通の徒歩圏内の居住人口の割合	50.6% 【R2】	50.6% 【R11】	全市的に人口が減少傾向にある中、立地適正化計画等とも連携しながら、少なくとも基幹的公共交通の徒歩圏内の居住人口は現状を維持していくことが望ましいと考えて設定した。	鉄道駅・バス停留所から一定距離の圏域を取り、人口メッシュデータと重ね合わせて算出（机上調査）	国勢調査・国土数値情報から取得	毎年	…	…	…	…	…	…	…	…
			おでかけタクシーの利用回数	–	40,000回/年 【R11】	令和7年度より運行を開始することから、他都市の先行事例等の実績値を踏まえて妥当な値を算出して設定した。 おでかけタクシーが様々な属性の方に多様な目的で利用しやすいものとなるよう、利用者数の伸びを実現する。	交通事業者による情報を確認	交通事業者から取得	四半期に一回	…	…	…	…	…	…	…	…
②：持続的に移動を支えるための体制をつくる	今ある移動手段を守り、支える	・【重点】施策・事業②-1-1　公共交通軸の維持・確保 ・施策・事業②-1-2　全市的な公共交通利用促進策等の展開 ・施策・事業②-1-3　担い手の確保支援	市内拠点間の公共交通（鉄道・バス）によるネットワーク状況	市外・市内拠点が鉄道・バス等の定時性の高い移動手段により接続されている状態	現状維持 【R11】	これまで民間事業者によって維持されてきた鉄道・バス路線が今後も維持されることが何より重要であると考え、設定した（部会・法定協議会委員より意見あり）。	交通事業者による情報を確認	交通事業者から取得	毎年	…	…	…	…	…	…	…	…
	地域資源を総動員する	・施策・事業②-2-1　福祉施策との連携による移動手段の確保 ・施策・事業②-2-2　民間事業者との効率的な連携	おでかけワゴンの系統別平均乗車人数	–	2人/便 【R11】	令和6年度まで同ルートを運行していたイーグルバス路線の実績を踏まえ、無理のない範囲で、かつ、フィーダー系統補助の要件の一つであることも加味して設定した。おでかけワゴンに、かつてのイーグルバスを利用されていた方々に違和感なく移行してもらうことを目指す。	交通事業者による情報から算出	交通事業者から取得	四半期に一回	…	…	…	…	…	…	…	…
	公共交通と福祉交通の連携を強化する	・施策・事業②-3-1　ボランティアによる移送サービス等との役割分担の明確化 ・施策・事業②-3-2　福祉有償運送の実施支援及び利用支援	「地域おたすけ隊」サービスにおける外出付き添い支援の実施地区数	5地区 【R5】	6地区 【R11】	今後、「地域おたすけ隊」の導入に向けて調整している地区数を踏まえて設定した。地域おたすけ隊は、地域の担い手にかかる負担に配慮しつつ、地域が無理なく対応できるよう、今後も必要な支援を行っていく。	市管理情報から確認	市管理情報から取得	毎年								
	公共交通を更に運用しやすく、使いやすくする	・施策・事業②-4-1　交通DX技術の導入検討 ・施策・事業②-4-2　情報発信の充実化								…	…	…	…	…	…	…	…
③：魅力的な目的地にアクセスしやすい環境をつくる	交通とまちづくりの連携を強化する	・施策・事業③-1-1　駅周辺市街地の都市機能強化	住民等の公共交通に対する満足度	バス:37% 鉄道:44% タクシー:39% 【R5】	いずれも50%以上 【R11】	少なくとも市民の半数以上の方に、いずれの公共交通に対しても、満足寄りの回答をしてもらうことが望ましいと考えて設定した。	住民アンケート調査結果を基に算出	住民アンケート調査結果から取得	毎年	…	…	…	…	…	…	…	…
	地域産業との連携を強化する	・施策・事業③-2-1　産業観光、体験型観光との連携	都市機能誘導区域内の都市機能のうち、誘導施設に設定された都市機能数	35施設/年 【H30】	48施設/年 【R22】	立地適正化計画とも連携しながら、利便性の高い基幹的公共交通の徒歩圏内に、商業・医療・福祉等の都市機能が充実している状態を目指す。	市管理情報を基に算出	市管理情報から取得	毎年	…	…	…	…	…	…	…	…
	脱炭素化を推進する	・施策・事業③-3-1　交通GX技術の導入検討	観光シャトルバスの１日当たりの平均利用人数	215人/日 【R6】	300人/日 【R11】	観光シーズンの自動車による交通渋滞を緩和させるため、観光客の移動が、便利なシャトルバスによる移動に移行される状態を目指す。	交通事業者による情報を確認	交通事業者から取得	毎年	…	…	…	…	…	…	…	…
	周遊・滞在しやすいまちをつくる	・施策・事業③-4-1　観光シーズンのシャトルバスの運行 ・施策・事業③-4-2　公共交通を活用した観光周遊企画の立案 ・施策・事業③-4-3「乗って楽しい公共交通」の推進								…	…	…	…	…	…	…	…

計画達成状況の評価、今後の方針（令和9年度）				計画達成状況の評価、今後の方針（令和10年度）				計画達成状況の評価、今後の方針（令和11年度）			
KPI実績	KPI 目標達成/未達成の要因、課題等	今後の方針 (1) 目標値のあり方 （修正の有無等）	今後の方針 (2) 本観点に紐づく関連施策のあり方 （強化、見直し等）	KPI実績	KPI 目標達成/未達成の要因、課題等	今後の方針 (1) 目標値のあり方 （修正の有無等）	今後の方針 (2) 本観点に紐づく関連施策のあり方 （強化、見直し等）	KPI実績	KPI 目標達成/未達成の要因、課題等	今後の方針 (1) 目標値のあり方 （修正の有無等）	今後の方針 (2) 本観点に紐づく関連施策のあり方 （強化、見直し等）
…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…